

仙台医療圏病院再編に係る仙台市・宮城県の協議（第1回）の概要

1 日時

令和6年2月22日（木）午後6時30分から午後7時30分まで

2 場所

宮城県行政庁舎9階 第一会議室

3 出席者

出席者名簿に記載のとおり

4 協議の概要

1 開会

2 挨拶

仙台市健康福祉局長

宮城県保健福祉部長

3 協議の進め方及び協議項目について

仙台市から、資料1・資料2により説明。資料記載事項以外に以下の通り説明。

（仙台市）

- この度の再編構想に関しては、仙台市内の基幹的な二つの病院がほぼ同時期に市外へ移転するというものであり、本市にとっての影響は非常に大きいものと認識している。
- 再編に関して、本市としてはその効果や影響について疑問や懸念があるものと考えており、これまで数度にわたり宮城県に様々な形で問合せ、あるいは要望してきたが、未だ十分に対応いただけていないという認識のもとで、2月9日付で協議の要請を行った。
- この協議については、そのような経緯も踏まえ、これまでの検討状況など、様々な説明を頂きながら、課題論点の明確化を図り、さらにそれらの評価や対応等について、必要なデータを用いた分析も行いながら、県、市で検討、意見の交換を行っていく場としたいと考えている。
- 私どもとしては、協議をすることで再編構想に理解を示した、というのではなく、今後の協議について予断を持たず、県市間で十分に意見交換をしてみたい。

引き続き、宮城県から、資料3により説明。資料記載事項以外に以下のとおり説明

(宮城県)

- いずれも重要な観点であり、市の懸念が改めて明確になったと受け止めた上で、県としても真摯に1点1点、話してまいりたい。様々な観点からの取組や、データの考え方など、膝詰めの議論を進めたい。
- 東北労災病院と精神医療センターについては、知事も議会で答弁申し上げたとおり、拙速にならないようにしっかりと取り組んでいく考えである。
- 仙台市として、この協議に入ったことで県の姿勢に理解を示すものではない、との認識で臨んでいると受け止めており、我々としても、理解の一端を深めていただく場として当然認識している。
- 協議項目によって、一定の整理ができる時間には差異があろうかと思われ、全体的にいつを目的に、という設定は難しい。
- 優先的に調整すべき事項に関しては、一番は救急医療に係る部分について、データやそれぞれの主張のずれが多くあり、調整の最優先項目としてスタートさせるというところかどうか。その上で、必要病床数の確保、回復期病床の充実も論点としてあり、同時並行で設定をしながら、それ以外の項目を順次深掘りしていくというような流れと思っている。
- 精神医療については、県としても現状サテライト案の提示等を行い、患者分析などもしている。今の段階で、局長・部長が参加いただく会議の中で説明をさせていただき、意見交換も設定したい。

以下、意見交換

(仙台市)

- 救急について、また精神医療センターサテライトは本市としても非常に関わりが大きいので、早い段階で協議したい。
- 病床確保についても、課題として今回病床数が減るということにもあり、非常に関心を持っている。
- 救急、精神と、病床と、様々課題のある中で、相当な回数を重ねる必要がある。
- 東北労災病院と県立精神医療センターの基本合意については年度内、という一つの目標がある中で、県は、この協議との関係をどのように捉えているか。

(宮城県)

- この場での話し合いの状況で、基本合意との直接的なリンクは考えていない。

(仙台市)

- 国からの条件が付いている中で、さらに東北労災病院、精神医療センターも、といった話は難しいものと考えている。
- 既存の資料は、今まで公表していないものを含め、早期に提示してほしい。

- 次回協議については、可能な限り早い時期にお願いしたい。

(宮城県)

- それぞれの協議項目によって、お互いの共通認識を図り、整理するタイミングが違ってくる。論点、課題、対応策を整理していく中で、各項目についての着地点の時期を見定めていくということになるのではないか。
- 政策医療に関わる部分は、早期にマクロな視点でも整理をし、お互いの方向性、課題に対する解決策を、比較的短いスパンで協議できればと考えている。

(仙台市)

- 協議としては、救急、精神と並行して、周産期等についても進めていく必要がある。
- これまで宮城県が検討、整理されてきた様々なデータ等があると思う。まず一次的な情報を共有したい。

(宮城県)

- 一通り情報共有をすると時間もかかるので、場合によっては、第1回は救急、周産期、がん、2回目は残りのテーマについて、というように分けて開催するイメージか。
- 例えば資料4、5に係るデータを提示し、その中身について、仙台市が独自で持つデータとのすり合わせなど、可能な限り早期に議論し、その進度に応じて次回の内容を都度決めていくようなイメージでいかがか。
- まず一通り、今ある情報をお互いに出して、情報、認識、そこに対する疑問などの確認は早めに行った方がよい。
- 協議を積み重ねながら土台を固めていきたい。

(以下について県・市で確認)

- 次回協議では救急医療、精神医療を中心に、これまで整理されたデータや検討状況について確認、共有を行う。
- 回りの早期開催に向けて日程調整を行う。

4 その他

5 閉会